

【めむろ未来ミーティング日程6】

令和7年1月10日（金）

10:00～11:05

■参加者 4人

■芽室町 町長、副町長、教育長
環境土木課参事、魅力創造課参事
農林課長、環境土木課長、政策推進課長

■記録 広報広聴係長

■対応・検討が必要な事項

①西土狩地域福祉館のトイレを全て洋式にし
てほしい(都市経営課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 ゼロカーボンの取組
資料2 新嵐山スカイパークのランドデザイン
について
- 4 意見交換

【意見】

新嵐山の営業再開はいいことだが、近くにはクマなどもいると思うので、対策を考えてほしい。

【町長】

実際にはスキー場や旧新嵐山荘の辺りにクマが出たという情報はこれまでもないが、南側には巣が多く、川から上がってきて南側を通るということはある。そのため、旧オートキャンプ場を営業していた時には二重の電気柵を設置して対策していた。

最近クマも下に下りてきている傾向にあるので、仰るとおり対策はしっかりしなくてはいけないと考えている。新嵐山の南側、裏の辺りに罾を仕掛けたり、猟友会と連携をとったりするなど、考えていきたい。

【意見】

猟友会も高齢化してきて大変だと思う。

【町長】

全国的に高齢化や人材不足で困っているところだが、芽室町は比較的若い人も猟友会に入ってきていて、体制は整ってきている。

【意見】

どうしたら下に下りてこないか考える必要があるのではないかな。

【町長】

人を恐れずに山から下りてくるアーバンベアが増えてきている。それは危険個体なので駆除しなくてはならない。北海道も担当を強化しているので、連携を取って考えていきたい。

【意見】

新嵐山荘は老朽化で壊すということだが、芽室町へ人を呼び込むのであれば、やはり宿泊施設の整備は考えてほしい。宿泊に来たついでにスキー等で遊んでもらえばいいと思う。町内の人々が宿泊するかはわからないが、町内外の人が満足できるような魅力的な新嵐山にしてもらいたい。

【町長】

今の新嵐山荘の現状を説明すると、建物の配管や電気等を調べた結果、1年使わなかっただけで、もはや使える状況にないということだった。改修も現実には難しいため、解体することにした。宿泊機能はどうするかというと、資料4ページにも書いていて、新嵐山株式会社が倒産して皆さんにもご迷惑をおかけしたが、その決算状況等を見ても、一番採算の取れていないのが宿泊だった。また、町民は泊まらないからなのか、町民からの宿泊ニーズもあまりないため、トータル的に色々考え、宿泊機能は町としてやることは考えていないという状況。ただ、図面の赤い部分の民間活用ゾーンを、もし活用いただけるのであれば令和8年度から公募しようと考えている。この

民間活用ゾーンは、町として何かに使う想定が今のところない土地であり、民間事業者には色々活用していただこうと思っている。その時に、宿泊や温浴施設等が可能性として出てくれば、町として許可し、土地を貸したり売ったりして活用いただければと考えている。そういう意味では宿泊機能の整備は可能性としてまったくないわけではないが、町ではなく民間事業者から提案があれば、やっていただけないかという想定。

【意見】

町に温浴施設がないので、日帰りでも近場に温泉があれば憩いの場としていいと思う。

【町長】

まちなかに観光で宿泊できるような場所もないことは町としても課題であり、まちなかに宿泊と温浴施設を整備できないかと知恵を絞っている。なかなか土地等もないので苦慮しているが、課題と認識しているので考えていきたい。

新嵐山での宿泊対応をどう考えるかは、冬でも使えて、しっかりした部屋として成り立つようなコテージを5棟ほど建てようという想定している。キャンプ場としては、コテージの奥にオートキャンプ場を整備するイメージ。フリーサイトをどうするかなどの細かい部分は、これから計画の中で考えていく。

【意見】

町外の人からも新嵐山をどうするのかなどの意見も聞いていたので、このように再構想が出来上がって大変ありがたい。その中で、株式会社モンベルの関連会社がランドデザインを策定したとのことだが、この関連会社とは、モンベルとどのような関係性で、町とどう関わっていくのか。なるべく早急に進んでもらいたいと考えている。

【町長】

モンベルの関連会社と記載しているのは、モンベルの子会社で設計等を専門に行う会社のことであり、実質モンベルと同様である。その会社が今回ラン

ドデザインを描いてくれたということになるが、これまでの経過をお話しさせていただくと、新嵐山スカイパークはこれまで、スキー場が良ければ黒字になって、今年のように雪がないと赤字になるという不安定な経営だったため、通年で人を呼べるような施設にしたいということを考え、資料の図面⑥にある屋内遊戯施設をメインにしながら、夏はキャンプやパークゴルフ、ドッグラン等で人を呼んで、冬はスキーと通年で使える屋内遊戯施設で黒字を目指すという発想に至った。

屋内遊戯施設は、十勝エコロジーパークや忠類、足寄の公園など、外で遊べる場所は十勝管内たくさんあるが、中で遊ぶところは少ないため、整備を考えた。管内で芽室町が一番先に作りたいたいと思っていたところ、音更町で作るといような情報が入ったので一番は厳しくなったが、総合体育館のキッズスペースには月4,000人ほどの人が来ていただくなど大変好評であり、そのようなファミリー層を呼び込みたい。それに加えて、今までのレストランのような食の機能もしっかり残して、夏はバーベキューができるなど、町民の皆さんに使っていただけるような施設にしたいという構想。

モンベルにデザインを描いてもらったのであれば、ショップも新嵐山にできるのかと考えるかもしれないが、出店に関しては今までの交渉の流れもあり、報道で話題になったが、新嵐山ではなく芽室公園に、ショップと日高山脈の入り口となるようなビジターセンターを作れたらと考えているところ。

実現すれば、新嵐山と芽室公園、そしてまちなかの集客に結びつけるような方策を関係する皆さんと相談しながら工夫していきたいと考えている。

【意見】

芽室公園のどの辺りに建てるのか。

【町長】

まだ決まっていない。町営球場から西に向かって花菖蒲園までを範囲としている。その中で、どこでやってもらうかをこれから民間事業者へ提案してもらうという流れ。PFIという制度で、商業施設も含めて

民間資本で整備してもらおうという仕組み。以前は公園で商売はできなかったが、平成29年の法改正で可能になり、モンベルの話もあったので、民間資本でやってもらえないかという考え。そのような制度なので、町としての初期投資はかからないが、いわゆるデベロッパーのような大きな業者が入らないと難しい。町からは、モンベルショップを必ず入れて、そこを核として飲食等の商業施設を合わせて提案することを条件として受け付けようと考えている。

場所は決まっていないが、柏の木を切ったり、芝生をはいだりして建物を建てるという考えはなく、仮に提案してきたとしても受けることにはならないと考えている。

【意見】

範囲の中に神社も含まれるのか。

【町長】

神社は含んでいない。

【意見】

今だと駐車場もかなり広くする必要がある。イメージは南富良野町のような感じか。モンベルショップがあって、飲食店等があるイメージ。

【町長】

そのようなイメージでいいと思う。

【意見】

ラジオをよく聞くが、管内にあるスノーピークや、フェーリエンドルフ等の情報はよく流れていて耳にすることが多い。芽室町においても、ぜひモンベルとの関わりなど、耳に届きやすいアピールをしてほしい。

【町長】

理解した。

【意見】

公園整備に関してはいくらかの費用かかるのか。

【町長】

公園に関しては先ほど説明したとおり、民間資本で行うものであり初期投資はかからない。町は土地を貸して、維持管理をしてもらうことになるので、指定管理料を毎年支払っていくという形になる。

新嵐山に関しては整備に相当費用はかかる。その額についてはこれから計画を立て、皆さんにお示ししていくことになるので、今は言えない。これだけの計画を立てているので、総事業費は大きな金額になる。ただ、総事業費ではなく、国からの支援や交付金等を活用しながら、町としての負担をできる限り抑えたいと考えている。総事業費としては大きな額だが、補助金や交付金、あるいは寄付金等の活用を想定しているので、町としてはこの額を支出することになるなどをお示しし、判断をしてもらうよう進めていく。

【意見】

やることは既に決まっているのにこれから予算立てしていくのか。

【町長】

現時点ではこのように整備したいという考えをお知らせしている状況であり、総事業費や町の負担がどの程度だということとはわからない。国からの補助金や交付金も交渉はさせていただいているが、確約を得たわけではなく、今の時点で確定していることはなく、来年度辺りに計画を立てながら並行して要望していく。

ランドデザインについても確定しているわけではないので、皆さんから意見をいただいて変更することはあり得る。

資料の図面で緑色の枠で囲っている部分は都市公園に編入する箇所であり、町として持ち続けてしっかり維持管理していくということで都市公園に位置付けるという理由と、都市公園に編入すると国の交付金対象になる。財源的にも有利となるので都市公園への編入を議会に提案していく。

そういった工夫で、極論だがイニシャルコストがゼロになるくらいの勢いで進めたい。ただ、維持管理

費用や指定管理委託料等のランニングコストは国等の補助金はないため、町でお支払いしていくことになることはご理解いただきたい。物価高騰もあり、以前よりも高くなる可能性もある。

【意見】

最近、芽室町もふるさと納税の実績が上がってきており、芽室町の認知度向上にもつながっていると思う。ふるさと納税による町の収益、また、逆に芽室町から出て行っている金額は把握できるのか。

【町長】

私が町長に就任した時には1億円いかないくらいのふるさと納税額だった。これを公約でも3倍にすると行って3億円を目標にしたが、1億円から2億7,000万円になり、昨年度は4億5千万円となった。今年度は12月にテレビ番組で取り上げられたことで、12月だけでも2億円ほどの寄付があり、目標である6億円に届きそうなくらい伸びている。

仰るとおり、町から出ていく分もあり、昨年度の4億7,000万円で説明すると、返礼品を含めて経費で約半分の支出があり、そこから町民の方が他の地域にふるさと納税する分を差し引くと、大体1億6,000万円が町に残り、町の事業に活用させていただいている。今年度は大体4,000万円ほどがほかの地域へのふるさと納税として出ていくこととなる見込み。

【意見】

介護保険の関係で、要支援1と2は各市町村の管轄になると聞いたが、それによって何か変わってくることはあるのか。

【町長】

これまで国が行っていたものが市町村のサービスになるというだけであり、サービスの内容は変わらない。認定も同じ仕組みで行う。

【副町長】

会計がこれまでと違うということ。介護には介護保

険専用の会計があって、そこには国等の色々なところからお金が入ってくるが、それを、介護保険専用の会計ではなく、国等からお金が入ってこない町の会計で処理するようになったということ。そのため、それぞれの町によっては、会計が厳しいから縮小してサービスの量が減るなどのことがあり得るかもしれないが、芽室町はそういうことはなく、町の会計の中で今までどおりしっかりやっていくので、認定内容やサービス内容は変わらない。

【意見】

①この会館のトイレに和式が残っているので、予算の問題もあるかとは思いますが、洋式に変えていただきたい。

【町長】

担当に繋いで対応したい。スペース等の問題もあるので、まずは現場を見させてもらう。

【意見】

北3線の17号と18号の間、堤防のあるところの道路だが、ごみ収集車や大型のトラックが近道としてよく通る。そこは道路もガタガタだったり低くなっていたりして、去年は2件も事故があった。路肩の方が低くなっていて落ちてしまう。橋も狭いため、予算的に厳しいことは理解するが、18号と19号の間くらいの幅に広げてもらいたい。

【環境土木課長】

北3線の17号18号の道路は、くりりんセンターに向かうパッカー車も通り、朝の交通量も多い道であるが、仰るとおり予算に限りがあり、なかなか全面的に改修することは順番もあって難しい。しかし、事故もあり危険な場所であるので、一度現場を確認させていただき、全面改修は難しいにしても、下がってしまった路肩部分だけレール張りという方法で直すやり方もあるので、検討させていただきたい。

11時05分終了

